

製品名: CTNNBL1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82242**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG2a |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 65kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CTNNBL1 |
| 別名 | NAP; P14L; PP8304; C20orf33; dJ633O20.1 |
| 遺伝子 ID | 56259.0 |
| SwissProt ID | Q8WYA6 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト CTNNBL1 (AA: 390-557) の精製された組み換え断片。 |

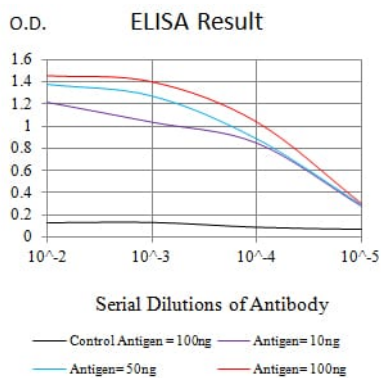
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、pre-mRNA 処理因子 19-細胞分裂周期 5 様タンパク質複合体 (PRP19-CDC5L) の構成要素であり、pre-mRNA スプライシングを活性化し、スプライソソームの不可欠な構成要素です。コードされるタンパク質は核局

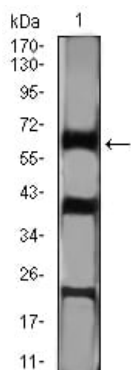
在配列結合タンパク質でもあり、活性化誘導脱アミナーゼに結合し、抗体の多様化に重要です。この遺伝子は肥満の発症にも関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子の擬似遺伝子が X 染色体上に定義されています。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]

研究分野

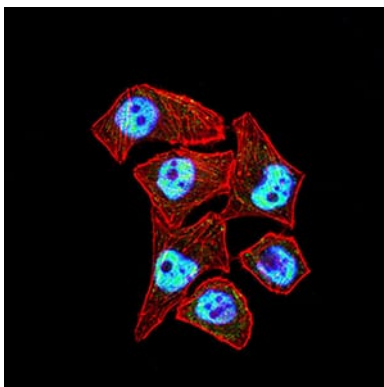
画像データ



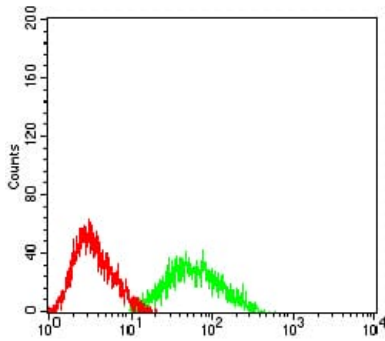
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



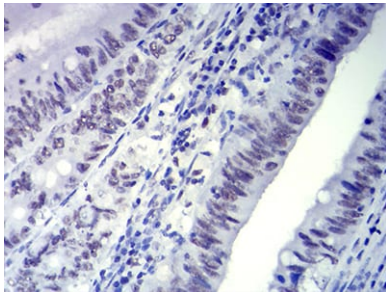
Hela(1)細胞溶解物に対する CTNNB1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



CTNNB1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CTNNB1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



CTNNB1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。